

## 新たな都市活力推進特別委員会行政視察概要

- 1 視察月日 令和5年11月16日（木）～11月17日（金）
  
- 2 視察先及び視察事項
  - (1) 国立大学法人九州工業大学（福岡県北九州市）  
大学発スタートアップ創出プラットフォームPARKSの取組について
  - (2) 福岡県ベンチャービジネス支援協議会（福岡県福岡市）  
中小及びベンチャー企業への起業及び成長・発展の支援の取組について
  - (3) 福岡県福岡市  
福岡市が推進する起業・創業支援等の取組について
  
- 3 視察委員  
委員長 田 中 紳 一  
委員 関 嵩 史

## 視察概要

### 1 視察先

国立大学法人九州工業大学（福岡県北九州市）

### 2 視察月日

11月16日（木）

### 3 対応者

上席高度専門職員（受け入れ挨拶・説明）

### 4 視察内容

（1）大学発スタートアップ創出プラットフォームPARKSの取組について

#### ア PARKSの設立経緯及び事業概要

国立研究開発法人科学技術振興機構による大学・エコシステム推進型スタートアップ・エコシステム形成支援を受けて、オール九州・沖縄圏一体でアジアとつながるスタートアップ・エコシステムを創出することを目標とした、九州・沖縄の15大学と株式会社FFGベンチャービジネスパートナーズによるPlatform for All Regions of Kyushu & Okinawa for Startup-ecosystem（以下、PARKSという。）が令和4年度に設立された。

PARKSは、九州・沖縄の地域特性を生かし、顧客志向で業界改革が可能なベンチャー企業を持続的に創出していくことを目的とするプラットフォームであり、福岡市及び北九州市をモデル都市に選定し、九州・大学発ベンチャー振興会議との連携を通して、アントレプレナーシップ教育から起業支援までを提供している。また、令和8年度末までにPARKSインターユニバーシティを設立し、独自のベンチャーキャピタルやPOCファンドの運用を行うことを目標に取組を進めている。

#### イ アントレプレナーシップ人材育成プログラムに関する取組

アントレプレナーシップ教育（以下、アントレ教育という。）とは、大学教育での専門的な学びに加えて、起業家的な思考・知識・行動様式を身につけることで、自分自身の生き方や自分を取り巻く環境等をより良いものへと発展させるような価値創造ができる人材へと育成する教育方法である。

PARKSではアントレプレナーシップ教員の育成を目的として、国内外の先進的な組織と連携してファカルティ・ディベロップメントを実施し、アントレ教育の研究を行い、参加大学においてアントレ教育が実施できる教員を育成する計画を進めている。

また、学生向けのアントレ教育にも重点を置いており、アーカイブシステムを利用した動機付けや意識醸成を進めながら、オンライン演習を実施し、コンピテンシーの形成を目的とした教育、さらには各大学の特色を活かしたプロジェクト・ベースド・ラーニング等を通じた社会実装教育を実施している。

#### ウ スタートアップ・エコシステムを創出するための環境整備

スタートアップ・エコシステムとは、公的機関や研究機関等がネットワークを作ることによりスタートアップを支援しながら発展するシステムのことであり、現在日本では8つの都市を選定し、公民連携によるエコシステム構築を集中的に支援している。

PARKSのプラットフォーム内では各大学の取組をつなぐPARKSアーカイブシステムの運用を行い、起業環境諸ルールのフォーマット化を進め、各拠点の起業環境をICTツールによりネットワーク化することにより、オール九州・沖縄一体でスタートアップ・エコシステムを創出するための環境を整備している。

#### エ 質疑概要

Q 高校生も受けることができるプログラムは用意されているのか。

A 短期間の高校生向けアントレ教育プログラムを用意している。

現代社会の変化を理解し、自己探求を深め、社会課題解決に向けた起業家精神を育成することを目指している。

参加者は自分の人生をどう生きるかを考える機会を得るとともに、将来のビジョンを描きながら、現代社会の変化を理解し、アントレプレナーシップの必要性を学ぶことができる。このワークショップを通じて自分らしさを探求し、自身の考え方や将来の生き方について深く考えるきっかけにしてもらえるようにプログラムを組んでいる。自分らしさを基に、どのように社会と関わり、どのような社会課題に関心を持ち続けるかを探求する。起業家との対話を通じて社会課題解決に取り組むためのアントレプレナーシップを持ち、具体的な行動計画を立てる。高校生はプログラムを通じて自己認識を深めることができ、社会に一步踏み出すためのアントレプレナーシップ養成につながると考えている。

Q プログラム内容も素晴らしいが、戸畑キャンパスの施設環境（GYMLABO等）も素晴らしい。どのようなコンセプトでつくられているのか。

A 2022年5月に開設された九州工業大学内のGYMLABOは、グローバルな人材、アイデア及びシーズをつなぐ交流の場として設計されている。この施設は学生が知識を共有又は協働し、未来を考える拠点となっており、社会との多様な共創活動を促進している。

老朽化した旧体育館を利用し、教員の設計と学生の参加によるリノベーションで生まれ変わったGYMLABOは、産学官協力のもとイノベーション創出を目指している。最大200人収容のコワーキングエリア、6～8人用カンファレンスルーム及びシェアオフィスなどが設けられ、様々な用途で活用することができる。この施設は九州工業大学が推進する新たなオープンイノベーションの重要な中心地となっている。

## （2）委員所見

PARKSは地域経済とバイオ分野の進展において、極めて重要な役割を果たしている。地域の若い起業家や研究者に必要なリソースを提供し、イノベーションと経済発展を促進する力を持っていることが明らかである。また、国際交流プログラムは学生や起業家に広い視野を身につけさせることで、グローバルネットワークの構築に寄与している。これは日本が国際的な競争力を高める上で非常に重要な土台になると思われる。

教育面において、PARKSが提供するプログラムは学生や若手研究者に実践的スキルと知識を身につけさせ、現代社会への適応能力と新しいアイデアや技術の応用能力を高めることにつながっている。特にGYMLABOを含む施設は、学生や研究者がアイデアを共有しプロジェクトを推進するための重要な場であり、知識の共有と協働を促進し、イノベーション創出における中心的な役割を果たしている。

PARKSは九州・沖縄地域の教育、研究及び起業の促進に重要な役割を担っており、地域社会にとって価値のある資産である。将来的にはさらに大きな影響を与えることが期待される。

バイオ分野での多くのプロジェクトが生まれる理由は、シーズに応じた複数のインキュベーションプログラムが用意されていること、そして創業に対するハードルが低く設定されていることにある。

九州工業大学のGYMLABOが提供する先進的な設備及び宇宙開発関連

の設備が整う環境は、国際交流が盛んな文化と合わせてバイオ分野のイノベーションと創業を加速させている。これらは地域経済の成長と発展に不可欠な要素である。



(国立大学法人九州工業大学内にて)

## 視察概要

### 1 視察先

福岡県ベンチャービジネス支援協議会（福岡県福岡市）

### 2 視察月日

11月17日（金）

### 3 対応者

商工部新事業支援課創業支援係長（受け入れ挨拶・説明）

### 4 視察内容

（1）中小及びベンチャー企業への起業及び成長・発展の支援の取組について

#### ア 協議会概要

新しい時代を担うベンチャー企業の育成と支援を目的として、平成11年にフクオカベンチャーマーケット協会が設立された。その協会を母体とし、平成27年8月に組織の名称を福岡県ベンチャービジネス支援協議会に変更し、海外展開支援機能を新たに加え、中小・ベンチャー企業の成長と発展をより強力に支援することを目指している。

現在はベンチャーキャピタル、銀行、商社、メーカー、証券会社、監査法人、生保・損保、地方自治体及びベンチャー支援財団など、200を超えるビジネスパートナーで構成されている。

#### イ GROWTH コース事業の目的及び成果

スタートアップ向けに展開されている GROWTH コース事業は、福岡県内のスタートアップ企業を支援し、事業成長と社会変革を促進することを目的として実施されている。同プログラムの対象は福岡県内に本社や支店を置く、あるいは置く予定のスタートアップであり、シリーズA未満の事業ステージにある企業とされている。書類審査及び必要に応じて実施される面談審査を通じて、選抜された企業に対して多岐にわたる支援が提供される仕組みとなっている。

支援内容には、個別カウンセリング、外部専門家とのマッチング及び定期的なメンタリング等が含まれ、ネットワーキングイベントである Fukuoka Startup Night への参加等も用意されている。また、参加企業には最大500万円の条件付き成長資金や、ベンチャー企業

の資金調達を目的としたアクセラレーションプログラム ISSIN THE FINAL への参加機会が提供され、全国で開催される様々なピッチイベントへの推薦も行われる。

コースへの応募資格はプログラム全日程への参加が可能であること、既にローンチ済みのプロダクトやサービスを持つこと、もしくは資金調達を検討していることとなっている。

プログラムを通して、地域内の新興企業に独自の支援を提供し、ベンチャー企業の成長及び成功を後押しすることを目指す事業となっている。

#### ウ 質疑概要

Q ビジネスマッチングに関わる事業について、さらに詳しく教えてほしい。

A ビジネスマッチング支援事業としてベンチャーサポートセンターを設置し、中小企業やベンチャー企業が新たなビジネスパートナーと出会えるような機会を提供している。さらに、海外展開支援事業を通じて、地域企業が海外市場に進出するための支援を行っている。加えて、福岡県中小企業技術・経営力評価制度も整えてある。これは地元企業の技術力や経営能力を評価し、それに基づいた支援を行うための制度である。

福岡県ベンチャービジネス支援協議会は、中小企業・ベンチャー企業と新たなビジネスパートナーのマッチングの場として、毎月フクオカベンチャーマーケットを開催しており、この市場は中小企業・ベンチャー企業と新たなビジネスパートナーのビジネスマッチングを目的としている。

これらの取組により、福岡県内の中小企業・ベンチャー企業の成長と成功を支援し、地域経済の発展に貢献している。

Q 福岡よかところビジネスプランコンテストについて詳しく教えてほしい。

A 福岡よかところビジネスプランコンテストは、福岡県内の新規起業家を対象にしたコンテストである。このコンテストは、地域の創業支援施策や資源情報を活用し、参加者が地域特有のビジネスプランを策定する手助けとなるような仕組みになっている。

応募者はビジネスアイデアを提出し、書面とプレゼンテーションで評価される。優秀なプランには表彰及び賞金が授与される。また県や市町村及び商工会議所等からも様々な支援があり、ビジ

ネスプランの改善や専門家のアドバイス等が実施されている。最大200万円（補助率2分の1）の起業支援金も用意されており、創造的なアイデアを持つ起業家には絶好の機会となっている。

## （2）委員所見

福岡県が展開する中小企業及びベンチャー企業への支援に関する取組は、地域経済の活性化において重要な役割を果たしている。特に、福岡県ベンチャービジネス支援協議会（以下「協議会」という。）の創設及び今日に至るまでの進化は、地域内の新興企業の育成と支援において目覚ましい成果を示している。この協議会が200以上のビジネスパートナーと連携し、海外展開支援機能を含む幅広い支援体制を構築していることは、ベンチャー企業の成長と発展において大きな推進力となっている。

また、スタートアップ向け GROWTH コース事業についても、福岡県内のスタートアップ企業を対象に事業成長と社会変革を促進する目的で創設されたプログラムであり、対象となる企業に対して多角的な支援を提供しており、地域経済の新たな動力源となり得るポテンシャルを秘めている。個別カウンセリング、外部専門家とのマッチング、定期的なメンタリングなど、具体的な支援内容が企業の実情に応じて提供されることで、これらの企業の事業拡大と持続可能な成長が期待される。

福岡よかここビジネスプランコンテストも注目すべき取組のひとつである。同コンテストは、地域資源を生かしたビジネスプランを持つ起業家を支援し、地域特有の課題解決に貢献することを目的としている。こうした取組は、地域経済の多様化と持続可能な発展に寄与すると同時に、新たな事業機会の創出にもつながる。これらの取組は、福岡県における中小企業やベンチャー企業の支援の枠組みを示すものであり、特に、新たなビジネスの創出や革新的なアイデアの実現を通じて、地域経済の活性化に貢献する可能性を秘めている。これらの成功事例を踏まえ、本市でもより強力な支援体制を構築し、地域経済の発展に資することが望まれる。





(ベンチャービジネス支援協議会内にて)

## 視察概要

### 1 視察先

福岡県福岡市

### 2 視察月日

11月17日（金）

### 3 対応者

経済観光文化局創業支援課創業拠点係長（受け入れ挨拶・説明）

### 4 視察内容

#### （1）福岡市が推進する起業・創業支援等の取組について

##### ア Fukuoka Growth Next の取組

Fukuoka Growth Next は福岡市に位置する官民共働型のスタートアップ支援施設であり、雇用創出や地域経済の発展に貢献というミッション及び未来のユニコーン企業を100社生み出すという明確なビジョンを掲げている。

福岡市の強力な支援や地元企業との連携を活用しながら、育成プログラムの提供やグローバルアクセラレーターとの連携及び資金調達機会の創出をサポートしている。その環境から生み出される多様なアイデアと技術で、新しい価値を提供するスタートアップの輩出を目標としている。

主にシードラウンドやアーリーラウンドと呼ばれる創業前、創業直後の企業を対象に支援を進めており、中には多額の資金調達を達成した企業も出てきており、着実に支援実績を上げている福岡市における主要事業の一つである。

##### イ つながりを広げる施設及び環境

Fukuoka Growth Next は元小学校の校舎をリノベーションし、学校の雰囲気を生かした趣のある空間を作り出している。施設内には多くのスタートアップが入居しており、チームルーム、シェアオフィス及びコワーキングスペースなど様々な用途にも対応可能な部屋が整備されている。特にコワーキングスペースの利用者は年々増加傾向にある。入居者には福岡市のスタートアップビザ制度を利用した海外出身の起業家も多く在籍している。

##### ウ 福岡流エコシステムと未来に向けた持続可能な創業環境

福岡流エコシステムとはグローバル創業・雇用創出特区である福岡市の強力な支援及び地元企業・ベンチャーキャピタル等との密な連携により、未来のユニコーン企業となるスタートアップを全面的にバックアップし、また支援した企業が次世代のスタートアップ等と連携・技術提供・出資等を行うことで、次の新しいユニコーン企業が誕生するという、創業循環型のシステムである。

Fukuoka Growth Next ではスタートアップとスポンサー企業の多様なパターンでの連携を促進しており、多業種のスポンサーが各取組に対して積極的に参加している。Fukuoka Growth Next ではアクセラレーションプログラム、ピッチイベント及びメンタリングプログラム等、スタートアップの安定した成長に寄与できる実効性の高い支援プログラムが幅広く用意されており、スタートアップの成長及び成功を着実に実現できる環境を整えている。

## エ 質疑概要

Q 関連する施設内のスタートアップカフェが人気であると聞いている。詳細を教えてください。

A スタートアップカフェは福岡市中央区に位置する施設であり、起業を志す人々をサポートするために設立された。この施設では、起業の準備や相談が可能となっており、福岡市特有のスタートアップエコシステムの構築を目指している。様々な業種や業態を考える人々が集い、相談し、交流することで互いに刺激を受け合うプラットフォームを提供している。

スタートアップカフェは、今後の起業を考えている、具体的なアイデアがある、資金調達をしたい、起業の仲間を探したい、起業したあとの経営に関する相談がしたい等、起業に関する様々な段階に出てくる疑問や相談に対応している。

サービスとしては起業相談、人材マッチング、スタートアップビザ受付、FUKUOKA GLOBAL STARTUP CENTER 及び福岡市雇用労働相談センター等があり、イベントスペースも相談に応じて提供されているので、多様なスタイルでのイベント開催が可能となっている。

Q 公民連携の施設であるが、その詳細を知りたい。

A 福岡市が実施した福岡市スタートアップ支援施設運営事業の提案公募において、4社が共同事業者として提案した案が採択された。この事業体制には、福岡地所株式会社、さくらインターネッ

ト株式会社、GMOペパボ株式会社及びフォースタートアップス株式会社が含まれる。福岡地所、さくらインターネット、GMOペパボは以前から運営に関わっており、これらの企業が協力してスタートアップ施設の運営を担うことで、福岡市の起業家精神や革新的なビジネス環境が促進されることが期待される。各社の持つ専門知識やリソースが結集されることにより、効果的な支援が提供されている。

## (2) 委員所見

福岡市が推進する起業・創業支援の取組、特に Fukuoka Growth Next の視察を通して、その先進性と効果性には感銘を受けた。Fukuoka Growth Next が旧大名小学校の校舎を利活用し、スタートアップ企業への具体的な支援を行っている点は歴史的建築物の再利用と地域経済の活性化を結びつける好例である。シードラウンドやアーリーラウンドの企業に対する個別の面談、カルテ作成を通じたサポートは、多くの企業が資金調達を成功させる基盤となっている。

また、スタートアップカフェの存在も起業家にとっては非常に大きく、福岡市中央区に位置し、起業家精神を育む交流の場として機能している。起業の準備から実施、さらには起業前後の相談に至るまで、様々な段階に応じたサポートが提供されている。これは、地域特有のスタートアップエコシステムを形成し、新しいビジネスモデルの創出を促進する上で非常に重要な役割を果たしている。

公民連携による施設運営も興味深く、福岡市が提案公募を通じて、福岡地所株式会社、さくらインターネット株式会社、GMOペパボ株式会社及びフォースタートアップス株式会社といった多種多様な企業が協力して運営を行っていることは、公民産官学協力体制のモデルケースとして高く評価されるべきである。

これらの企業の専門知識とリソースが一か所に結集されることで、より効果的であり守備範囲の広い支援が提供され、福岡市の革新的なビジネス環境の促進が今後予想される。地域経済の活性化とイノベーションの推進において、横浜市としても参考にしたいと思える多種多様な施策及び取組に関する話を聞くことができた。



(Fukuoka Growth Next 内にて)